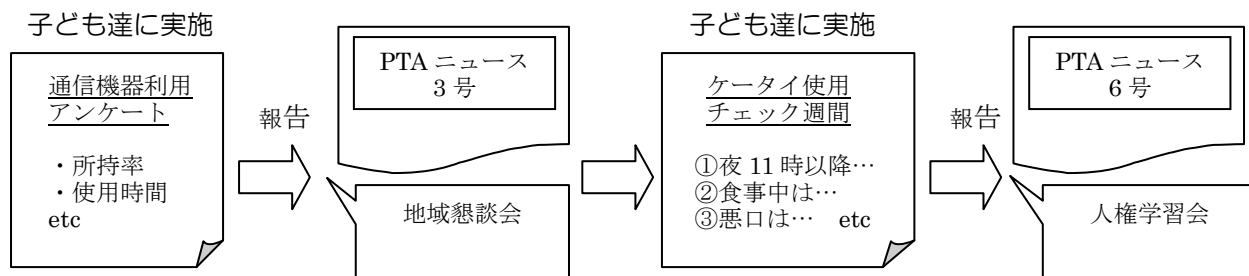


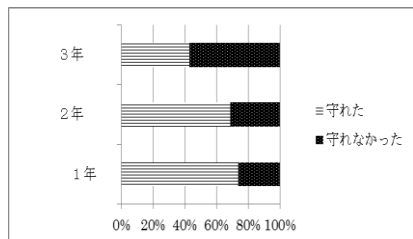
## ケータイ使用チェック週間 実施しました！

今年度、PTA 本部では子ども達のケータイ(ネット通信機器)利用についての取組に力を入れています。6月にはケータイ所持率や使用時間などその時点での使用状況調査のためアンケートを子ども達に取り、地域懇談会にて結果を報告、本紙でも集計結果を一部紹介しました。9月のテスト前には、使用にあたって守って欲しい5項目について5日間、子ども達自身にチェックしてもらいました。これは人権学習会にて集計結果を報告しました。親として現状を知り、知識を得て、子ども達がケータイと上手く付き合えるためにどうすればよいか。それにはまず、各家庭でルール作りが必要と考え、そのきっかけになればという思いで取り組みました。

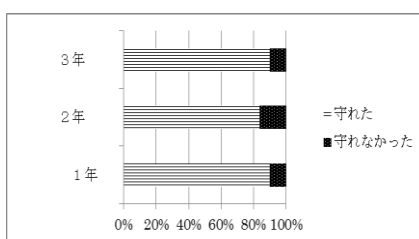


“ケータイ使用チェック週間”の項目とその集計結果を一部報告します。

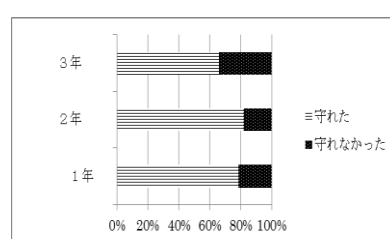
### ①夜 11 時以降は使用しない



### ②食事中は使用しない



### ④勉強中は使用しない



集計結果から、

- ① 3年生は半分以上が夜 11 時以降も使用している
- ② 食事中使用しない人は多いが、一人で食べるときは使ってしまうという意見もありました
- ③ 悪口を書き込む人は全体的に少ない
- ④ 勉強中も使用している人が多い → 調べ物で使用、音楽を聴きながら勉強との理由
- ⑤ 寝るときもそばに置いておいて目覚まし代わりに使っている人が多い

子ども達の感想からは

- ☆ 自分自身の使い方を振り返ることができた
- ☆ これから気を付けたいと思う
- ☆ ケータイを持つようになったらルールを考えたい
- ☆ 良い機会だった。何だかんだ触っているなと思った
- ☆ 勉強中の誘惑を断ち切りたい

寝る前に使ってしまうわね？

勉強に集中できているのかな？



等々、それぞれ反省や気づきがあり、本部一同、実施してよかったと感じました。

### 書き損じはがきの回収にご協力をお願いします

PTAでは、書き損じはがきの回収を行い、その収益を子ども達のための様々な活動に有効に活用しています。趣旨をご理解いただき、回収にご協力をお願い致します。

お子さんを通じて、担任の先生に渡すか職員室入り口付近のPTAボックスに入れて下さい。

※回収可能なはがきは郵便局を通過していないものに限りです。(宛名不明で戻ってきたものは不可)

締め切り 平成 27 年 2 月 2 日

# 人権学習会『ネットトラブルから子ども達を守るために』

11月19日(水) 講師 ネット安心アドバイザー 菅原邦美氏

<参加者>保護者20名、先生5名

菅原先生に京都府警からネット安心アドバイザーとして講師に来て頂きました。京都市で携帯市民インストラクターとしても活躍され、多くの小中学校で講演されています。菅原先生自身も一保護者として子どもの携帯トラブルに向き合って来られました。

初めに、ネットトラブルについてお話をいただきました。

- ① SNSのトラブル(文字と言葉の違いからくるトラブルなど)
- ② 違法性のある投稿(いたずらが多額の損害賠償につながることも)
- ③ 個人情報の公開による危険(知らない間に公開)
- ④ ネットでの出会い(顔が見えないからこそ信じてしまう危険)

様々な危険から子ども達を守るためにもルールを決め、上手く付き合える環境を作り、トラブルに巻き込まれたときに素直に相談してくれる親子関係が必要と話されました。

ルール作りのポイントは

- ① 使う場所、② 時間、③ マナー、④ お金・課金、⑤ フィルタリング、⑥ 困ったら相談
- これらを基本に子ども自身が主体となってルールを作る。

ルールは10個以内が良いそうです。親も使い方に気をつけましょう!

もしトラブルに巻き込まれたら [京都府警サイバー犯罪対策課 451-9111\(代表\)](http://www.kyoto-pref.go.jp/saiya)へ参加された保護者の感想は、



知識が得られてよかった

これから持たせるにあたって参考にしたい

子どもともう一度話し合いたい

繰り返し継続して考えていくことが大切だと思う

## 校長先生を囲んで～ 今井先生も囲むよ



12月12日(金) 今年度2回目の校長先生を囲む会を進路指導の今井先生にもお越し頂き行いました。インフルエンザ拡大防止のため延期されたにも関わらず、20名の参加がありました。ちょうど三者懇談期間だったので、その前に聞いておきたい、終わってこれからの課題を、といった方々が多かったです。

その他「校長先生の朗読が聞きたくて!」という声が多かったことに嬉しい驚きがありました。

まず、今井先生から11月に発表された府立高校志望状況について説明があり、それぞれの高校が特色を出そうと

しているにも関わらず、交通の便や部活動による特徴が志望動機に大きく影響しているということでした。今井先生からのアドバイスは

- ① 志望校を決めるポイントは、その高校でどれだけ自分の力を伸ばせるかということ。
- ② 今後イメージ化していくであろう、その高校の特色と将来性を考えて選んで欲しい。
- ③ 受験は新しい自分を磨く機会として積極的に取り組んで欲しい。
- ④ 勉強方法に悩んでいる暇があったら英単語一つでも覚えよう。短時間を長期間。

参加者の方々も的確なアドバイスとリアルな情報が聞け、満足していただけたのではないのでしょうか。最後は校長先生の朗読でしんみりと感動して終わりました。



勉強の仕方を

どの高校にしたらいかが悩んでいる

親としての関わり方

本気モードスイッチを入れたい